



# 1T-CL-322-EU 汎用コントロールパネル

## 取扱説明書



## ■安全上の注意

この度は tvONE 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



### 警告

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・ 必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- ・ AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・ 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・ 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・ 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



### 注意

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・ 開口部や空いている穴から物を差し込まないでください。故障の原因となります。
- ・ 通気口や開口部をふさがないでください。また、本ユニットの周囲に空気が循環するのに十分なスペースを確保してください。
- ・ 万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・ 以下のような場所には設置しないでください。  
直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所  
振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・ 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・ 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

## ■はじめに

コントロールパネル 1T-CL-322-EU をご購入いただきありがとうございます。本製品は、イーサネット経由でさまざまな機器を操作する汎用コントロールパネルです。フロントパネルのボタンには赤と青の LED バックライトを装備し、コマンドの起動を視覚的に示すことができます。また、プライマリマクロコマンドと拡張マクロコマンドを備え、最大 128 個のコマンドを保存することができます。

## ■製品の特長

- ・ フロントパネルに 15 個のマクロボタン
- ・ ウェブインターフェースでアクセス可能な 15 個の仮想ボタン
- ・ マクロ毎に最大 16 個のコマンド
- ・ 最大 128 個のコマンドを保存
- ・ DC 0～24V/8A をサポートするリレー制御出力
- ・ スケジューラによる日時指定の制御
- ・ ボタン制御および Telnet、UDP、ウェブインターフェースによる制御
- ・ PoE で電源供給可能

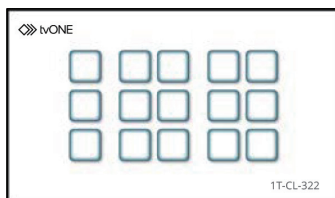
### ▼動作要件

- ・ スイッチまたはルータ経由のイーサネット接続
- ・ PoE サポート

## ■梱包内容

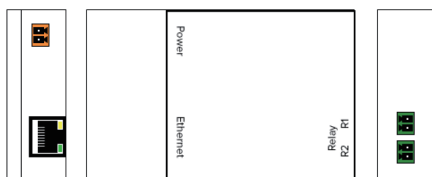
- ・ 本体（ウォールマウント可能なキーパッド）
- ・ USB ケーブル（Type A～Mini USB）× 1
- ・ 3.5mm フェニックスコネクタ× 1
- ・ 電源アダプター（DC5V/2.6A）× 1
- ・ ボタン用ラベル

## ■フロントパネル



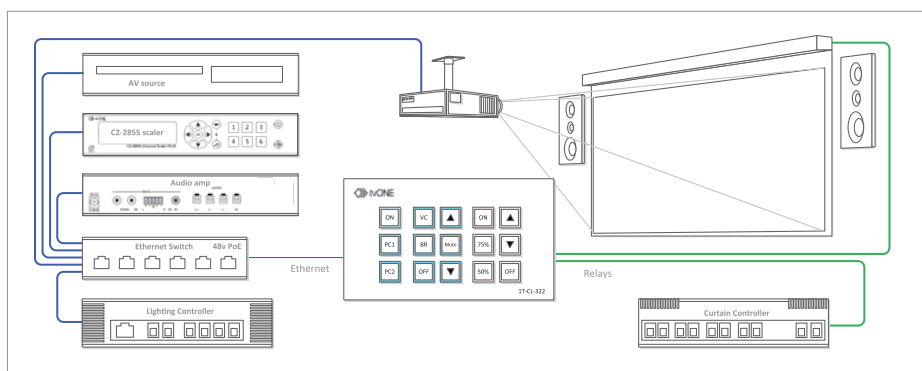
|     |   |
|-----|---|
| ボタン | 各ボタンは最大 16 個のコマンドをサポートし、2 色（赤と青）の LED インジケータの明るさを 0%～100%の間で調整できます。 |
|-----|---|

## ■リアパネル



|                      |  |
|----------------------|--|
| イーサネット (RJ45)        | イーサネット経由で PC や制御する機器に接続します。この端子は PoE (48V Power over Ethernet) をサポートします。 |
| DC 5V(フェニックス)        | PoE を使用しない場合は、付属の電源アダプターを接続します。  |
| Relay R1/R2 (フェニックス) | 2 つのリレー接点出力です。0～24V/8A の容量をサポートします。                                      |

## ■システム構成例



1T-CL-322-EU は、1 つのイーサネットポートで複数の機器を制御します。本ユニットに PoE で電源を供給すれば、電源アダプターを必要としないため設置の柔軟性が向上します。2 つのリレー出力を使用して電動スクリーンや電動カーテンの開閉をトリガーします。

## ■外部コントロール

### ● 1T-CL-SW ソフトウェア

イーサネット上の 1T-CL-322-EU を検出して、本ユニットのウェブインターフェースにアクセスするディスカバリー機能があります。tvONE のウェブサイトからダウンロードできます。

[www.tvONE.com/wall-plate-control-panel](http://www.tvONE.com/wall-plate-control-panel).

### ●ウェブインターフェース

本ユニットは、ウェブインターフェースを使って各種設定を行ないます。ウェブインターフェースのデフォルトのポートは 80 です。

### ● IP アドレスを検出する

デフォルトでは、本ユニットは DHCP を使用して自動的に IP アドレスを取得します。本ユニットの IP アドレスは、1T-CL-SW ソフトウェアで確認できます。

- ① 本ユニットと PC を同じネットワークに接続します。
- ② PC で 1T-CL-SW ソフトウェアを起動し、「Find Devices on Network」ボタンを押します。
- ③ 検出されたリストから本ユニットを選択します。
- ④ InfoFrom ウィンドウに本ユニットのネットワーク設定が表示されます。
- ⑤ 本ユニットのウェブインターフェースに接続するには、PC が本ユニットと同じセグメントの IP アドレスである必要があります。なお、InfoFrom ウィンドウで本ユニットの IP アドレスを変更することもできます。

ネットワーク設定の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。DHCP をサポートしていないネットワークに接続した場合は、デフォルトの IP アドレスは 192.168.1.50 で、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

### ●ウェブインターフェースに接続する

- ① 本ユニットのウェブインターフェースに接続するには、PC のウェブブラウザを起動し本ユニットの IP アドレスを入力するか、1T-CL-SW ソフトウェアの InfoFrom ウィンドウの Web GUI リンクを選択します。
- ② ユーザー名「admin」とパスワード「adminpw」でログインします。

## ●ネットワーク設定

1T-CL-SW ソフトウェアの InfoFrom ウィンドウまたはウェブインターフェースのネットワーク設定タブでネットワーク設定を変更することができます。

### ・ ネットワークアドレスの設定

1T-CL-SW ソフトウェアの InfoFrom ウィンドウでは、DHCP を有効または無効に設定できます。

|              |  |
|--------------|--|
| Product ID   | 2236                                       |
| Product Name | 1T-CL-322-EU                               |
| MAC Address  | F8:22:85:09:0D:82                          |
| IP Address   | <input type="text" value="192.168.1.24"/>  |
| Subnet Mask  | <input type="text" value="255.255.255.0"/> |
| Gateway IP   | <input type="text" value="192.168.1.1"/>   |
| DNS          | <input type="text" value="0.0.0.0"/>       |
| IP Mode      | <input type="text" value="DHCP"/>          |
| Web GUI Port | <input type="text" value="80"/>            |
| Telnet Port  | <input type="text" value="23"/>            |

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイおよび DNS も設定できます。ウェブインターフェースのネットワーク設定タブでも同様に、DHCP または Static を選択し、IP アドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイを設定できます。また、ネットワーク設定をデフォルトにリセットすることもできます。

注：ネットワークアドレスを変更すると、本ユニットと PC が異なるセグメントになってしまう場合があります。この場合は、PC のネットワークアドレスを本ユニットに合わせて変更してください。

Network

### Network Settings

IP Mode:

IP:

Netmask:

Gateway:

## ● Telnet および UDP による外部制御

Telnet ポートまたは UDP ポートを使用して、PC やサードパーティ製のコントロール装置から本ユニットを制御することができます。デフォルトの通信ポートは 23 です。本ユニットと外部コントロール装置を同じネットワーク上に接続し通信が可能な設定にしてください。

### ・ PC または Mac から本ユニットに接続する

- ① CLI (コマンドラインインターフェース) を起動します。
  - ・ Windows : cmd で検索
  - ・ Mac : 「アプリケーション」 > 「ユーティリティ」 > 「ターミナル」を選択
- ② Telnet の場合は、CLI で telnet IP アドレス ポートを入力します。例えば、telnet 192.168.1.50 23 と入力します。
- ③ UDP の場合は、CLI で udp IP アドレス ポートを入力します。例えば、udp 192.168.1.50 23 と入力します。
- ④ help を入力すると、利用可能なコマンドリストを確認できます。

注：各コマンドにはキャリッジリターンを続けてください。コマンドは大文字と小文字を区別しません。

### ・ 外部コントロール装置のコマンド

以下のコマンドは、外部のコントロール装置で使用します。1T-CL-322-EU の制御については、12 ~ 13 ページを参照してください。

| コマンド                     | パラメータ                 | 説明   |
|--------------------------|-----------------------|--|
| IPCONFIG                 |                       | 現在の IP 設定を表示するには、このコマンドを使用します。                                     |
| SIPMODE N                | N は、「STATIC」または「DHCP」 | IP モードを設定するにはこのコマンドを使用します。   |
| SIPADDR XXX.XXX.XXX.XXX  | XXX=0 ~ 255           | IP アドレスを設定するには、このコマンドを使用します。                                       |
| SNETMASK XXX.XXX.XXX.XXX | XXX=0 ~ 255           | サブネットマスクを設定するには、このコマンドを使用します。                                      |
| SGATEWAY XXX.XXX.XXX.XXX | XXX=0 ~ 255           | ゲートウェイを設定するには、このコマンドを使用します。  |
| VER                      |                       | ファームウェアのバージョンを表示するには、このコマンドを使用します。                                 |
| FADEFAULT                |                       | 工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、このコマンドを使用します。IP アドレス、ログイン ID およびパスワードがリセットされます。 |
| ETH_FADEFAULT            |                       | ネットワーク設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、このコマンドを使用します。                          |
| REBOOT                   |                       | 再起動するには、このコマンドを使用します。  |
| HELP (?)                 |                       | コマンドリストをすべて表示するには、このコマンドを使用します。                                    |
| HELP N                   | N は、コマンド名             | 特定のコマンドの説明を表示するには、このコマンドを使用します。                                    |

## ■ 1T-CL-322-EU の設定

ウェブインターフェースを使って、フロントパネルの各ボタンに「実行する操作」を設定します。「実行する操作」は、マクロで構成され、各ボタンに1つまたは2つのマクロを関連付けさせます。マクロは、コマンド設定タブで入力する一連の個別コマンドで構成されます。

### ●日時を設定する

時間設定タブで日付と時刻を設定します。

The screenshot displays the 'Time' configuration window. At the top, it shows the 'System Time' as '2015-01-03-Sat 06:04:02'. Below this is a calendar for 'July 2016' with a 'Save' button. To the right of the calendar are two time selection fields, each with a day dropdown (Thu), an hour dropdown (0 AM and 1 AM), and a day of month dropdown (First). Below the calendar are three time selection fields for Hour, Minute, and Second, each with a numeric input and +/- buttons. At the bottom are 'Now' and 'Done' buttons.

ヒント：PCの日付と時刻を使用する場合は、「Now」ボタンをクリックします。本ユニットは電源が供給されない状態で48時間は日時を覚えていますが、それを過ぎるとファクトリーデフォルトの日時に戻ります。

### ●プライマリマクロと拡張マクロ

本ユニットには15個のボタンがあります。フロントパネルの各ボタンに関連する15個（1～15）のプライマリマクロの他に、15個（16～30）の拡張マクロを備えており、トグルモードで使用されます。

### ●ボタンモード

#### ▼通常モード

フロントパネルのボタンを押すとプライマリマクロのコマンドが送信されます。

#### ▼リピートモード

フロントパネルのボタンを長押しするとプライマリマクロのコマンドが繰り返し送信されます。これは、ボリュームを操作するなどの場合に使用します。

#### ▼トグルモード

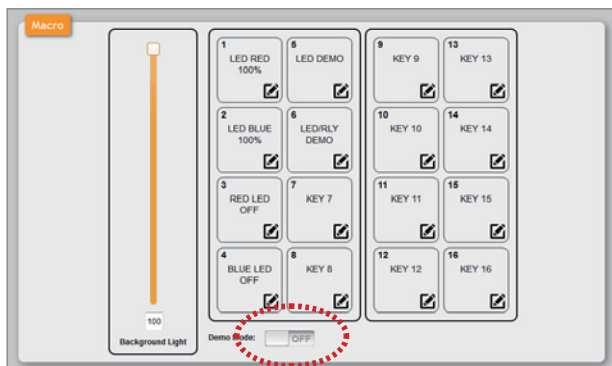
ボタンを押すとプライマリマクロが送信され、次に同じボタンを押すと拡張マクロが送信されます。つまり、ボタンを押すたびにプライマリマクロと拡張マクロの間でトグルします。これは、オーディオのミュートとミュート解除を1つのボタンで操作する場合などに使用します。

注：リピートモードとトグルモードを同じボタンに適用しないでください。



## ●デフォルトマクロ

本ユニットは、デフォルトで6つのプライマリマクロが設定されています。これは、本ユニットのデモンストレーションなどのテスト用です。ボタンのLEDが点灯したりリレーをON/OFFします。マクロ設定タブで確認できます。



| ボタン | マクロ名           | 機能                               |
|-----|----------------|----------------------------------|
| 1   | LED RED 100%   | 赤色 LED を 1 ～ 15 (16) まで順次点灯させます。 |
| 2   | LED BLUE 100%  | 青色 LED を 1 ～ 15 (16) まで順次点灯させます。 |
| 3   | RED LIGHT OFF  | 全ての赤色 LED を消灯します。                |
| 4   | BLUE RIGHT OFF | 全ての青色 LED を消灯します。                |
| 5   | LED DEMO       | デモモードの ON/OFF を切り替えます。           |
| 6   | LEDRLY DEMO    | 青色 LED とリレー機能の組合せ                |

## ●マクロの作成と編集

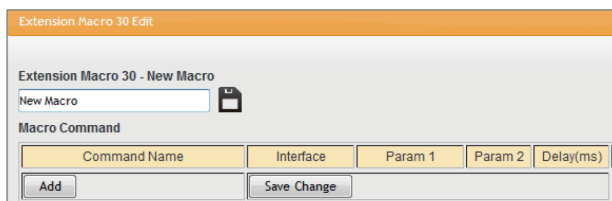
プライマリマクロと拡張マクロの作成や編集をする方法は同じです。マクロ設定タブで、プライマリマクロまたは拡張マクロを選択します。

### ▼マクロの作成

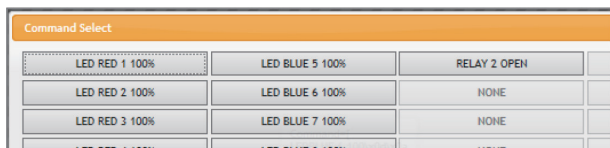
- ① 編集したいボタンの  (編集ボタン) を押します。



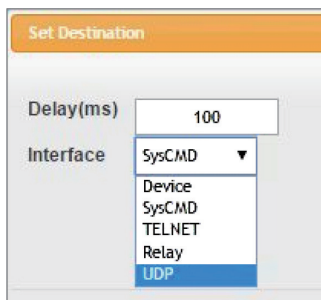
- ② マクロ名を入力し  (保存ボタン) を押します。



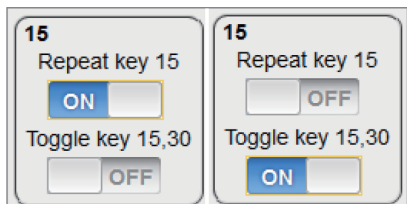
- ③ コマンドを追加するには「Add」ボタンを押し、コマンド選択ウィンドウからコマンドを選択します。



- ④ Set Destination（送信先設定）ウィンドウで Delay 時間（0～99999ms）を設定します。遅延時間はコマンドの送信間隔で、500ms 以上に設定することをお勧めします。
- ⑤ Interface ドロップダウンリストからコマンドの送信先のインターフェースを選択します。










- ・「Device」は、デバイスのリストに登録されている装置にコマンドを送信します。ドロップダウンリストから送信先のデバイスを選択してください。
  - ・「SysCMD」は、内部コマンドをフロントパネルに送信します。例えばボタンの LED を赤色に点灯させます。
  - ・「TELNET」は、telnet 通信でコマンドを送信します。送信先の IP アドレスとポート番号を入力します。ほとんどの tvONE 製品のポート番号は「10001」です。
  - ・「Relay」は、本ユニットのリレー接点の ON/OFF を制御します。ポート 1 またはポート 2 を選択します。
  - ・「UDP」は、UDP 通信でコマンドを送信します。送信先の IP アドレスとポート番号を入力します。ほとんどの tvONE 製品のポート番号は「10001」です。
- ⑥ 上記ステップ 3～5 を繰り返してコマンドを追加し、設定を保存します。また、マクロの編集や削除も可能です。



- ⑦ 上図のように、キー設定タブでボタンモードを選択します。

注：リポートモードとトルモードを同じボタンに適用しないでください。

## ▼マクロの編集

- ① 編集したいボタンの  を押します。
- ② マクロを編集します。
  - ・ リスト内のコマンドを上下に移動するには、  または  を押します。
  - ・ コマンドを編集するには、  を押します。
  - ・ コマンドを削除するには、  を押します。
  - ・ 新しいコマンドを上挿入するには、  を押します。
- ③ Save Change ボタンを押して、変更を保存します。
- ④ マクロ名を変更するには、名前を変更してから  を押します。
- ⑤ ボタンモードを変更するには、キー設定タブで Repeat または Toggle を ON または OFF します。

## ●ボタンのラベリング

フロントパネルのボタンのキートップにラベルを貼って、ボタンの動作をわかりやすくすることができます。付属のラベルシートには空白のラベルも含まれ、カスタマイズすることができます。

- ・ ラベルから保護フィルムをはがし、ボタンにラベルを貼り付けます。

## ■コマンドの作成と編集

本ユニットには、最大 128 文字のコマンド文字列を最大 128 個まで保存できます。

コマンドを作成および編集するには、コマンド設定タブを使用します。

### ●コマンドの作成

- ① 新しいコマンドを作成するには、空の行の「Edit」ボタンを選択します。
- ② コマンド名を「Command Label」フィールドに入力します。
- ③ 「Command Data」フィールドに、1 つまたは複数のコマンドを入力します。
  - ・ 各コマンドの後ろに「\x0d」を入力します。コマンドとコマンドの間にスペースを入れないでください。
  - ・ 最後のコマンドの後ろには「\x0d\x0a」を入力します。

例えば、ウィンドウ 1 に黒のボーダーを付加するコマンドは以下のようになります。

```
login(admin,adminpw)\x0dWindow1.BdrRGB=0\x0dlogout\x0d\x0a
```

### ●コマンドの編集

- ・ 既存のコマンドを編集したい場合は、そのコマンドの「Edit」ボタンを押します。変更を加えた後、保存します。
- ・ 既存のコマンドを削除したい場合は、そのコマンドの「Remove」ボタンを押します。

## ●フロントパネルを制御する内部コマンド

フロントパネルのボタンの LED 点灯など、本ユニット内部の制御をすることができます。また、同じネットワークに接続された他の 1T-CL-322-EU にもコマンドを送ることができます。マクロを作成するときにコマンドの送信先を選択してください。

| コマンド         | パラメータ  | 説明   |
|--------------|--|--|
| REBOOT       |  | このコマンドを使用して、本ユニットを再起動します。再起動後、ウェブインターフェースに再度ログインしてください。  |
| RELAY N N1   | N はポート番号 1 または 2<br>N1 は OPEN または CLOSE または TOGGLE | リレー出力を制御するには、このコマンドを使用します。例えば、「RELAY 1 CLOSE」コマンドは、リレーポート 1 をクローズします。<br>「OPEN」はリレーを開き、「CLOSE」はリレーを閉じます。「Toggle」は、リレーが開いているときは閉じ、閉じているときは開きます。 |
| LEDBLUE N N1 | N はボタンの番号 (1 ~ 15)<br>N1 は明るさ% (0 ~ 100)           | ボタンの青色 LED の点灯状態を制御するには、このコマンドを使用します。  |
| LEDRED N N1  | N はボタンの番号 (1 ~ 15)<br>N1 は明るさ% (0 ~ 100)           | ボタンの赤色 LED の点灯状態を制御するには、このコマンドを使用します。  |
| LEDBLUES N   | N は明るさ% (0 ~ 100)                                  | このコマンドを使用して、すべてのボタンの青色 LED の点灯状態を制御します。  |
| LEDREDS N    | N は明るさ% (0 ~ 100)                                  | このコマンドを使用して、すべてのボタンの赤色 LED の点灯状態を制御します。  |
| BACKLIGHT N  | N は明るさ% (0 ~ 100)                                  | このコマンドを使用して、すべてのボタンのすべての LED の点灯状態を制御します。  |
| MACRO RUN N  | N はマクロ番号 (1 ~ 30)                                  | プライマリまたは拡張マクロに設定した特定のマクロを実行するには、このコマンドを使用します。「MACRO RUN N」をコマンド文字列の最後に置きます。  |
| MACRO STOP N | N はマクロ番号 (1 ~ 30)                                  | プライマリまたは拡張マクロに設定した特定のマクロを停止するには、このコマンドを使用します。これは、複数のマクロが実行されている場合に、その中の 1 つを停止したいときに使用します。   |
| MACRO STOP   |  | このコマンドを使用して、実行されているすべてのマクロを停止します。  |

## ●リレーを制御するコマンド

リレーポートを使ってさまざまな機器を制御することができます。以下のコマンドで本ユニットのリレーポートを開いたり閉じたりすることができます。また、同じネットワークに接続された他の 1T-CL-322-EU にもこのコマンドを送ることができます。マクロを作成するときにコマンドの送信先を選択してください。

| コマンド       | パラメータ   | 説明   |
|------------|---|--|
| RELAY N N1 | N はポート番号 1 または 2<br>N1 は OPEN または CLOSE<br>または TOGGLE | リレー出力を制御するには、このコマンドを使用します。<br>例えば、「RELAY 1 CLOSE」コマンドは、リレーポート 1 をクローズします。<br>「OPEN」はリレーを開き、「CLOSE」はリレーを閉じます。<br>「TOGGLE」は、リレーが開いているときは閉じ、閉じているときは開きます。 |

## ●その他の機器を制御

tvONE 製品および他社のプレイヤーやプロジェクターを telnet コマンドで制御することができます。マクロを作成するときにコマンドの送信先を対象の機器に設定します。このようにイーサネット経由でコントロールする機器は、同じネットワーク上で同一セグメントに設定しなければなりません。コントロールする機器の IP アドレスとポート番号はコマンド文字列に入力します。コントロールする他社製品のコマンド一覧については、その製品のマニュアルを参照してください。











## ● tvONE 製品を制御するコマンド

tvONE のウェブサイトから、その製品が使用できるコマンドの一覧を API ドキュメントとして取得できます。

tvONE 製品を制御するコマンド例

イーサネット経由で機器を制御するコマンドの作成例を以下に示します。この例では、C2-2855 および C3-510 に保存されたプリセットを呼出し実行します。

例 1) C2-2855 のプリセット 1 を実行する

| Command Name     | Interface | Param 1      | Param 2 | Delay(ms) |   |   |   |   |   |
|------------------|-----------|--------------|---------|-----------|---|---|---|---|---|
| C2-2855 Preset 1 | TELNET    | 192.168.1.21 | 10001   | 600       |  |  |  |  |  |
| Load preset      | TELNET    | 192.168.1.21 | 10001   | 100       |  |  |  |  |  |

C2-2855 では、1 つのプリセットを実行するのに 2 つのコマンドが必要です。プリセットを呼出し、次に実行します。

プリセットを呼出すには：

- ・ コマンド名：C2-2855 Preset 1
- ・ インターフェース：TELNET
- ・ パラメータ 1：C2-2855 の IP アドレス
- ・ パラメータ 2：C2-2855 のポート番号
- ・ Delay 時間：600ms
- ・ コマンド：F0410410225000001??\x0d\x0a






以上でプリセットを実行する前の呼出しが完了します。

プリセット1を実行するには：

- ・ コマンド名：Load preset
- ・ インターフェース：TELNET
- ・ パラメータ1：C2-2855のIPアドレス
- ・ パラメータ2：C2-2855のポート番号
- ・ コマンド：F0410410226000017E\x0d\x0a

例2) C3-510のプリセット1を実行する

C3-510は、1つのコマンドでプリセットを実行することができます。但しC3-510にアクセスするために、ログインコマンドを含める必要があります。最後はログアウトして通信を閉じます。

| Command Name    | Interface | Param 1      | Param 2 | Delay(ms) |   |   |   |   |   |
|-----------------|-----------|--------------|---------|-----------|---|---|---|---|---|
| C3-510 Preset 1 | TELNET    | 192.168.1.23 | 10001   | 500       |  |  |  |  |  |

C3製品はC2製品と異なり、複数のコマンドを「\x0d」で区切られた同じ文字列に置くことができます。

コマンド文字列には次の3つの要素を含みます。

- ・ ログイン：login(admin,adminpw)
- ・ プリセット1を実行：preset.take=1
- ・ ログアウト：logout

プリセット1を実行するには：

- ・ コマンド名：C3-510 Preset 1
- ・ インターフェース：TELNET
- ・ パラメータ1：C3-510のIPアドレス
- ・ パラメータ2：C3-510のポート番号
- ・ コマンド：login(admin,adminpw)\x0dpreset.take=1\x0dlogout\x0d\x0a

## ■マクロのスケジュール

作成したマクロをスケジュール機能を使って指定した日時に自動的に実行することができます。スケジュール機能には、指定した日時に1回だけ実行する「Once」モードと、定期的に繰り返して実行する「Repeat」モードがあります。Repeatモードは、1日1回だけ実行する設定ですが、実行する曜日を選択することができ、平日のみや毎週1回の実行も設定できます。

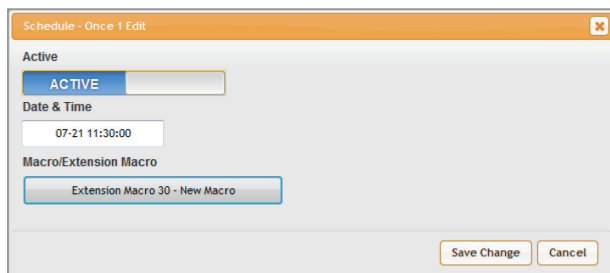
また、同じマクロを1日に複数回実行したい場合は、複数のスケジュールで同じマクロを実行させます。

| Schedule                 |        |      |        |        |           |
|--------------------------|--------|------|--------|--------|-----------|
| Repeat                   |        |      |        |        |           |
| Active                   | Weekly | Hour | Minute | Second | Macro     |
| <input type="checkbox"/> | Sun    | 14   | 30     | 45     | New Macro |
| <input type="checkbox"/> | Sun    | 15   | 00     | 00     | New Macro |

スケジュールの作成を開始する前に、Time Setting タブで本ユニットが正しい日付と時刻になっていることを確認してください。8ページの「日時を設定する」を参照してください。

## ● Repeat スケジュールの作成と編集

- ① Repeat リストの「Edit」 ボタンを押します。新しいスケジュールを作成する場合は、空白の行を使用します。
- ② スケジュールを作成または変更後に「Save Change」 ボタンを押し、設定を保存します。

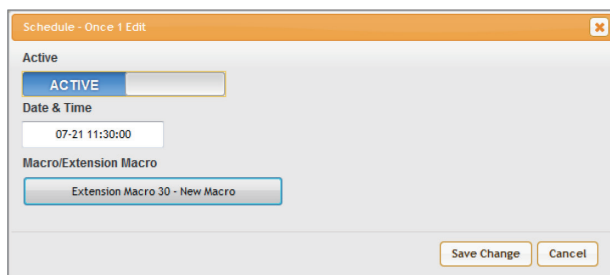


Screenshot of the "Schedule - Once 1 Edit" dialog box. The dialog has an orange title bar with a close button. It contains the following fields and buttons:

- Active:** A blue button labeled "ACTIVE" followed by a text input field.
- Date & Time:** A text input field containing "07-21 11:30:00".
- Macro/Extension Macro:** A text input field containing "Extension Macro 30 - New Macro".
- Buttons:** "Save Change" and "Cancel" buttons at the bottom right.

## ● 一回限りのイベントの作成と編集

- ① Once リストの「Edit」 ボタンを押します。新しいスケジュールを作成する場合は、空白の行を使用します。
- ② スケジュールを作成または変更後に「Save Change」 ボタンを押し、設定を保存します。



Screenshot of the "Schedule - Once 1 Edit" dialog box. The dialog has an orange title bar with a close button. It contains the following fields and buttons:

- Active:** A blue button labeled "ACTIVE" followed by a text input field.
- Date & Time:** A text input field containing "07-21 11:30:00".
- Macro/Extension Macro:** A text input field containing "Extension Macro 30 - New Macro".
- Buttons:** "Save Change" and "Cancel" buttons at the bottom right.

## ■ デバイスの追加と編集

イーサネットに接続されている各デバイスの IP アドレスとポート番号を含めたデバイスリストを保存できます。

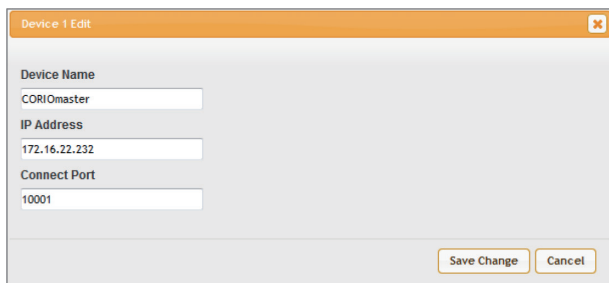
Device Setting タブでデバイスの追加および編集をします。

### ● デバイスとは

デバイスとは、tvONE 製品を含む Telnet コマンドで制御できる機器のことです。1T-CL-322-EU が同一ネットワーク上に 2 台以上接続されている場合は、相手の 1T-CL-322-EU をデバイスリストに追加することもできます。

## ●デバイスの追加

- ① 空の行を選択して「Edit」ボタンを押します。
- ② デバイス名、IPアドレス、ポート番号を入力し「Save Change」ボタンを押して保存します。



Device 1 Edit

Device Name  
CORIOmaster

IP Address  
172.16.22.232

Connect Port  
10001

Save Change Cancel

tvONE 製品のデフォルトポート番号は「10001」です。

## ●デバイスの編集

- ・ 編集するデバイスを選択して「Edit」ボタンを押します。内容を変更したら「Save Change」ボタンを押して保存します。
- ・ デバイスを削除するには、デバイスを選択して「Remove」ボタンを押します。
- ・ マクロを作成または編集する際に表示させたくない場合は、「DISABLE」を選択しデバイスを無効にします。

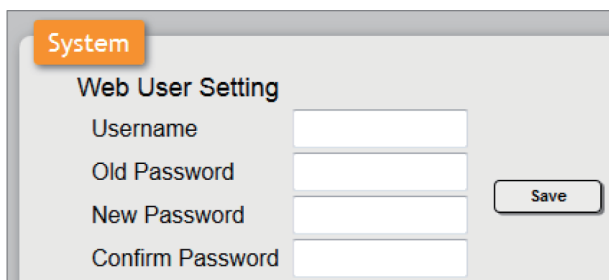


ENABLE

DISABLE

## ■ユーザー名とパスワードの変更

System 設定タブでログインする際のユーザー名とパスワードを変更することができます。



System

Web User Setting

Username

Old Password

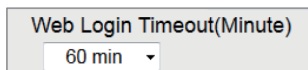
New Password

Confirm Password

Save

## ■タイムアウト時間の設定

一定時間アクセスしないと自動的にログアウトされます。システム設定タブで5分～60分の間で任意のログアウト時間を設定してください。



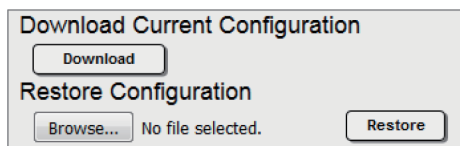
Web Login Timeout(Minute)

60 min



## ■設定の保存と復元

本ユニットの設定を XML ファイル形式で PC に保存することができます。保存したバックアップは、いつでも本体に復元できます。設定を復元する場合は、一度ウェブブラウザをリフレッシュしてから行ってください。



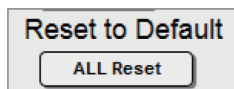
## ■工場出荷時のデフォルト設定

工場出荷時の設定に戻すと、IP アドレスなどのネットワーク設定もリセットされます。ファクトリーリセットをする前に、ネットワーク設定を書き留めてください。1T-CL-SW ソフトウェアで容易に元の設定に戻せます。または、事前に本ユニットの設定を PC にファイル形式で保存し、ファクトリーリセット後に復元することもできます。

### ●ファクトリーリセットの手順

System 設定タブでデフォルト設定に戻すことができます。

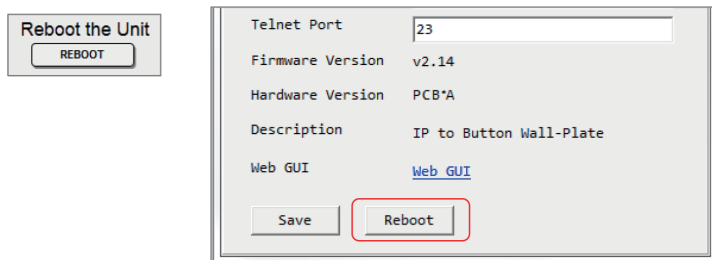
①「ALL Reset」ボタンを押します。



②「XML Restore Finish !」というメッセージが表示されたら、ウェブブラウザをリフレッシュしてください。

### ●再起動

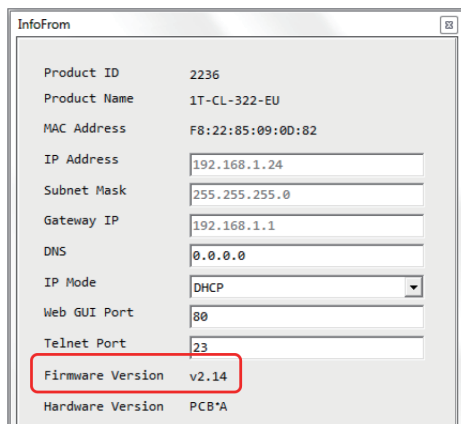
ウェブインターフェースの System 設定タブまたは 1T-CL-SW ソフトウェアの InfoFrom ウィンドウから再起動できます。



## ■ファームウェア

### ●ファームウェアのバージョン確認

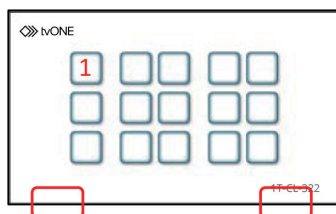
1T-CL-SW ソフトウェアの InfoFrom ウィンドウでファームウェアのバージョンが確認できます。



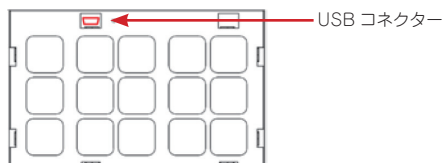
### ●ファームウェアの更新

1T-CL-322-EU と PC を USB ケーブル (Type A ~ mini B) で接続してアップデートします。

- ① tvONE のウェブサイトから最新のファームウェアを PC にダウンロードします。
- ② 圧縮されたファイルを解凍します。ファームウェアは .bin ファイルです。
- ③ 1T-CL-322-EU のフロントパネルを取り外します。USB-mini-B コネクタがフロントパネルの下にあります。



- ④ 電源を切ります (電源アダプターをコンセントから抜きます)
- ⑤ ボタン 1 を押したまま電源を入れます。ボタン 1 が 2 回点滅したら指を離します。
- ⑥ PC と本ユニットを USB ケーブルで接続します。



USB UPDATE ドライブのウィンドウが表示されます。

- ⑦ファームウェアファイル (.bin) を USB UPDATE ドライブのルートにコピー (ドラッグ&ドロップ) します。ファームウェアの更新が自動的に開始されます。

転送が完了すると、フロントパネルのボタンが全て点灯し、本ユニットが自動的に再起動します。

ウェブインターフェースをリフレッシュする必要があるため、ウェブブラウザをリフレッシュするか、1T-CL-SW ソフトウェアで再接続してからウェブインターフェースに再ログインしてください。

## ■仕様

|             |                            |
|-------------|----------------------------|
| 入力ポート       | 15 ボタン、1 IP(RJ-45)         |
| 出力ポート       | 2 リレー                      |
| イーサネットプロトコル | TCP/IP                     |
| 電源          | DC 5V/2.6A または POE         |
| 消費電力        | 3.7W                       |
| 寸法・質量       | W149 × H87 × D31mm、約 226 g |
| 動作温度        | 0 ~ 40°C                   |
| 保管温度        | - 20 ~ 60°C                |
| 相対湿度        | 20 ~ 90% (結露なきこと)          |

## ■コンプライアンス

- ・ 本体は、FCC および CE 規制に準拠
- ・ 本体は、ESD プロテクション ( 静電気放電保護 ) の人体モデル規格に準拠 ( ± 8kV : 非接触、± 6kV : 接触 )
- ・ 付属の電源アダプターは、UL、CUL、CE、PSE、GS 規制に準拠
- ・ 本体及び付属品は RoHS 規制に準拠



- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

---

**HIBINO**

ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881

E-mail: [info@hibino-intersound.co.jp](mailto:info@hibino-intersound.co.jp) <http://www.hibino-intersound.co.jp/>